

今日の1冊

アイヌ語地名の歴史

児島 恭子 著



【内容】

ウェン、フンペ、ウツ…。独特な響きを持ち、アイヌ語を起源とする北海道の地名。それらは人々が生活をしていく上での行動や世界観が示されたものでもある。元札幌学院大学教授が、アイヌ文化・歴史としての地名を解き明かす。

【著者紹介】

〈児島 恭子(こじま・きょうこ)〉

東京都生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程後期満期退学。博士(文学)。元札幌学院大学教授。著書に『エミシ・エゾからアイヌへ』『アイヌ民族史の研究』など。